Engineer データ

インフラ

9 件の実績

システムの各部分を結び付ける

「インフラ」に分類した実績は、稼働するシステムの一部分を示しています。その部分を他の業務につなげるお手伝いをします。 障害が小さいうちに知らせる監視とアラートを整え、安定した状態をどれだけ維持できているかを数値で示します。

サービスを見る お問い合わせ →

比較できる課題を探す

ご自身の状況に近い事例をご覧ください。振り返りでは、技術名だけでは分からない、結果を導いた判断を説明しています。 社内初のオブザーバビリティダッシュボードを構築 — 社内システムの状態を初めて可視化

社内初のオブザーバビリティダッシュボードを構築 お問い合わせ →

14部門を支える共通インフラ計画

研究機関の14部門に関わるインフラ全体の枠組みを設計。柔軟なモジュール、統一されたデータパイプライン、長期的な定着を支える体系的なサポート方針を備えた。

社内初のオブザーバビリティダッシュボードを構築

社内初のオブザーバビリティダッシュボードを開発・公開し、オフィスの大型テレビでシステム性能とデータをリアルタイムに把握できるようにした。

UbuntuでPostgreSQL・MS SQLサーバー10台を運用

Ubuntu Linux VPS上にPostgreSQL・MS SQLサーバー10台を設計・デプロイ・保守し、性能と信頼性を維持した。

Linuxサーバーを守る1,000件のRBACルールを作成

開発者、アプリケーションインスタンス、PostgreSQL、MS SQL、その他のLinuxサーバーに1,000件のRBACルールを実装して不正アクセスを防ぎ、データセキュリティを強化。Ansibleによる自動化として記録した。

Barmanで重要データのバックアップ100件を自動化

Barman、Google Cloud、Bash、Pythonで重要データのバックアップ100件を自動化し、データベース間のデータ整合性を確保した。

地図製品を最初から運用まで支える

2年間にわたり、インフラ、データ処理、地図アプリケーションを設計・開発・支援し、ソフトウェアの提供と運用保守の両方を担当した。

バックアップと災害復旧をコードで実装

データベースのバックアップ保持をコードで設定し、復旧可能な状態を監査して復元手順を文書化。残る不足を障害時に初めて知ることがないよう明記した。

認証情報漏出後に対象範囲の規則を記述

構成変更によって別会社の資産一覧、ファイアウォール許可、文章が混入したことを受け、リポジトリの対象範囲を定める規則を記述し、隔離した残存物も除外せず秘密情報検査の対象に残した。

追跡せずに13アドレスを測定

Cookie、トラッカー、第三者サービスを使わず、Webサーバーのアクセスログのみから13アドレスを測定。書き込み時に接続元ネットワークをマスクし、21の日別集計と20の月別分析軸からなる永続アーカイブへまとめた。

技術的な取り組みを絞り込む

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

自社の状況に当てはめる

お使いのシステムで「インフラ」がどのように関わっているかをお聞かせください。適したサービスを選び、その業務範囲を定めるお手伝いをします。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く 連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://data.engineer.company/ja/categories/infrastructure/